

- ◆企画名 KUブリッジ七夕祭り
日 程 平成23年6月25日(土)
場 所 総合学生会館凜風館4階 ミーティングルーム小
参加者数 31名(KUブリッジ11名、留学生5名、日本人学生15名)
目 的

風物詩にふれる機会を提供することで、留学生の日本文化に対する興味・関心を深めてもらう。さらに日本人学生にも、日本文化を再認識してもらい、留学生との交流を通して異文化を学びながら、自国の文化の大切さを理解してもらう。

内 容

「夏祭り」をテーマにいつでも気軽に参加できるよう、企画実施時間中、随時開放的なスペースを提供した。また、申込などを行わず参加者を特定しないで、だれもが参加自由な空間作りを行った。

そこで3つのブースを出してそれぞれで日本文化に関する出し物を行い、留学生・日本人学生を出迎え、文化に触れてもらいながら相互交流の場を提供した。また、着付けの方法を記したプリントや、七夕の由来を明記したものを設置し、参加者に配布することでより深く文化を知ることができる工夫を行った。

[当日スケジュール]

- 9:00～ 会場設営
- 13:00～ 企画開始
- 16:00 企画終了
- 17:00～ フィードバック
- 17:45 完全撤収。鍵返却



感 想

七夕祭りは留学生と日本人学生、どちらにも参加してもらったイベントでした。当日は雨だったのですが、沢山の方が足を運んでくださいました。日本の七夕の風物詩の代表、浴衣を体験してもらいました。他にも短冊に願い事を書いて笹につけたり、暑中見舞いを作ったり、扇子や風鈴、うちわなどの風物詩を見て交流したり、とても楽しい時間になりました。特に留学生の皆さんには日本文化を身近に感じてもらえたと思うので、来年も取り組みたいと思います。

改善点

- ・来場者に常連者以外の新たな層を取り込むために告知に幅を持たせ、当日の呼び込みや声掛けにより力をいれていく。
- ・カメラの充電が完全であるかを事前に確認を行っておく。
- ・本企画は、来場者を限らなかつたため、その場その場での対応が重要となった。場の状況を見ながら臨機応変に対応していく。
- ・担当者間での情報共有を強化し、情報の細分化をなくす。
- ・ピア・サポータとしての自覚をより強く持ち、企画運営者として場をまとめていく力を身につける。
- ・留学生の授業がない土曜日ではなく、留学生の授業があり、大勢が登校している平日に企画実施日を設定する。また、今回のような参加者不特定型の企画の場合は、参加者を事前に特定している企画よりも、事前の告知回数を増やすことによって、より多くの参加者の確保を図る。